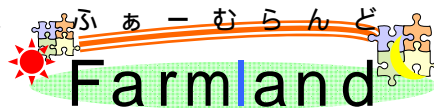




会報



第39号

平成 29 年 12 月

## 防草シート現地研修会を開催

10月24日（火）倉吉市関金町米富地内に於いて、防草シート現地研修会を開催しました。活動組織から約60名の参加がありました。きめ細やかな雑草対策は、資源向上支払（共同活動）で実施できることになっています。昨年度までは、カバープランツを紹介していましたが、防草シートによる方法もあることから開催しました。

今回使用した防草シートは幅2m長さ5mの高密度織物シートで、畦畔の上段、下段と順番に施工しました。ピンの間隔は、上と下は50cm間隔、中は1m間隔で打って行きました。当日は、準備不足で、ピンの上に貼るシールがなかったのですが、ピン打ちの箇所から顔を出す草を抑えるため、シールを貼ります。今回の畦畔は、幅4m長さ65mの法面でした。

なお、気になる材料代は、シート、ピン、シールで700円/m<sup>2</sup>で、耐用年数は、12年もっている実績があるようです。



## 水路目地補修現地研修会を開催

10月27日（金）八頭郡井古地内（東部会場）、10月31日（火）伯耆町遠藤地内（西部会場）に於いて、水路目地補修現地研修会を開催しました。東部会場には活動組織から約80名、西部会場には活動組織から約50名の参加がありました。本研修は、従来の充てん工法（モルタル等）ではなく、テープ（シート）工法の実演と実習の研修として開催しました。

最初に今回使用する材料等について業者から説明があり、その後、実演して頂きました。活動組織の方には順番にプライマー塗り、シーラント打設、シールの敷設を実習して頂きました。東部と西部で、協力して頂いた業者は違っていました。材料は同じでした。参考として、テープの材料費は1セット4千円/m程度です。

今回の研修で、①前処理として、施工箇所のコケ、砂、草などをブラシで、しっかり除去しないとイケない。②施工箇所は、乾いていないとイケない。湿っていれば、ガスバーナーを利用。③施工は、雨天ではできない。ということがわかりました。この研修につきまして、何かございましたら、協議会（支援員）までお願いします。



## 平成29年度多面的機能支払交付金事例研究会

10月11(水)、12日(木)国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)において、農林水産省主催による多面的機能支払交付金事例研究会が開催されました。全国から約500人の参加があり、鳥取県からは昨年度中国四国農政局長表彰(優秀賞)を受けた「笠木の集落を守る会」(合併して今は笠木福万来集落保全会)と平成22年度中国四国農政局長表彰(最優秀賞)「下種地域ふるさと保全会」が参加されました。

「下種地域ふるさと保全会」 広報担当 市下稔 記



田中雅巳代表

本活動組織が事例発表12地区に選定されたので、発表することになった。

1日目は、基調講演と3テーマの代表地区が発表・意見交換、2日目は12地区が3会場に分かれて、発表・意見交換があった。

2日目に下種地域ふるさと保全会は「テーマ1活動の体制強化」で田中雅巳代表が、約130人の前で発表した。

1町村全体、7、8集落を1組織としている地区(事務職員雇用)、又、地元企業を取込んだ活動(ボランティア)等の事例発表があり、大変有意義であった。ただ、どことも将来の後継者不足が問題となっていた。

「笠木福万来集落保全会」 会長 石川哲嗣

開会時間より早めに到着したので、会場外から少し落ち着いてから、他県の参加者と思しき人と一緒に会場入りし受付を済ませた。会場の大ホールは、少し余裕があった。

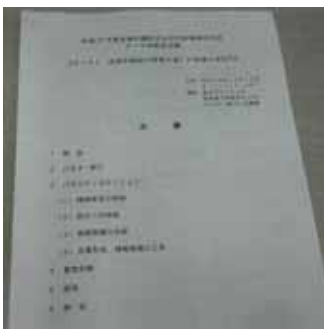
第1日目の全体会は、いまだに“組織づくり”、“計画作成”といった取り組みがテーマとなっており、活動の充実・発展という場面に至ってなく、研修レベルとして期待外れだった。

一つ活動の優良事例として用意されていたのは、岡山県吉備中央町の円城広域組織の活動事例があったが、これは前回の中国四国の研修会で発表されたものであり、中国四国の研修会のほうが活動レベルが先行していると感じた。

第2日目の分科会には参加申し込みしてなく、当日参加という形で、第2分科会の“多面的機能の発揮を通じた地域の活性化”に参加した。発表テーマが細切れにされており、場面場面の取り組み方という形で発表されたので、発表団体の取り組み全体・活動状況がつかみにくかった。

全体の運営もしまりがなく、全体研修会としては、もっと内容豊かなものを期待したい。

こうした中、分科会に参加された団体で、直接活動する組織ではないが、地域に若者による任意のグループを作らせ、自由な発想で活動してもらい、徐々に活動組織の後継者として育て上げた話や、女性グループが参加している団体もあり、全国研修会に女性を参加させる団体の取り組み姿勢など見習う点として研修の成果となった。



## ご存知ですか？ご注意下さい！

### ○ 経理の一本化

経理の一本化について、これまでは農地維持・資源向上（共同活動）の交付金と資源向上（長寿命化）の交付金は、別々に管理していましたが、今年度からまとめて管理することが出来るようになりました。

特に、資源向上（長寿命化）の活動が多く、交付金が足り苦しい活動組織には、経理の一本化は事務の簡素化にも繋がる有効な制度です。今年度の計画で、一本化の申請をしていなくても規約の変更届を提出していただければ、今年度からでも対象となりますので、是非取り組んでいただきますよう検討をお願いします。

### ○ 直営施工

資源向上（長寿命化）の直営施工について、今年度、新規（継続新規含む）及び変更に伴う再認定を受けられた活動組織で、長寿命化に取り組んでおられる活動組織の大半は6/6の交付単価が受けられるよう、**直営施工の実施**にチェック点を入れておられると思います。

直営施工は、毎年度実施しなければなりません。期間中に実施しない年度があれば、遡って1/6の交付金を返還することになりますので、国の示す作業例（ふぁ～むらんどの第35号）を参考に必ず実施して下さい。

### ○ 広報活動の実施

今年度から新規（継続新規含む）及び変更に伴う再認定を受けられた活動組織で、「多面的機能の増進を図る活動」に取り組み、なお且つ、活動区域が農業地域類型の中間・中山間地域農業外で地域振興8法に該当しない活動組織は、農村環境保全活動で行う「普及・啓発活動」以外に広報活動を行うことが義務づけられました。実施しない場合は交付単価が5/6に減額となりますので、必ず実施して下さい。

なお、ふぁ～むらんどの第36号でもお知らせしていますが、チラシ等作成していただければ協議会ホームページで紹介しますので、協議会へ送付してください。



## 活動組織の広域化を考えて見ませんか？

鳥取県では活動組織の広域化の推進を図っています。既存組織の活動状況等の違いからなかなか広域化進んでいないのが実情です。広域化と言えば、難しく思われるかも知れませんが、近隣の数集落で纏まるとか、近隣の既存組織を合併（合同申請）するといった小規模の纏まりでも結構です。また、高齢化した組織、役員のみなり手がいない組織等を元気な組織に組み込んであげるなど、各活動組織で取組の検討をお願いします。

## 「農村の風景フォトコンテスト 2017」 農地・水・環境保全活動部門賞 決定



水土里ネットとっとり主催の「農村の風景フォトコンテスト 2017」審査会が11月6日（月）に行われ、農地・水・環境保全活動部門賞に『アジサイを守る。』（倉吉市：坂本秀隆）が決定しました。

フォトコンテストは、毎年行っていますので、日頃の活動で、「これは！」という写真があれば、来年度でもよろしいので、応募をお願いします。

## 美しく豊かなむらづくり大会2017 参加者募集

水土里ネットとっとり主催の「美しく豊かなむらづくり大会2017」がアロハホール（湯梨浜町）で12月13日（水）13時から開催されます。兵庫県たつの市八木正邦さん（多面的活動組織代表、土地改良区理事長）の講演があります。また、多面的機能支払に関する県内事例も配布予定です。是非とも参加して頂くよう、お願いします。

## 平成29年度多面的機能支払中国四国シンポジウム 参加者募集

平成29年度の中国四国シンポジウムは、平成30年1月25日（木）高知県で開催されます。平成29年度の中国四国農政局長表彰（最優秀賞）活動組織の発表のほか、活動組織の意見交換も予定されています。参加希望がありましたら、市町村担当者へ申し込んで頂きますよう、お願いします。

## 活動組織からのQ & A

- Q. 平成29年度から経理区分の一本化をしました。そろそろ、実績報告へ向けて準備を進めたいのですが、どうすればいいのでしょうか？
- A. 経理区分の一本化をした場合、金銭出納簿（様式 1-7 号）、実施状況報告書（様式 1-8 号）への記載が昨年度までと違ってきます。様式の入手については、市町村担当者へ問合せ頂くか、協議会ホームページからもダウンロードできます。
- Q. 平成30年度で多面的機能支払交付金の取組みを終了することを考えています。交付金の残額は返還することになると聞いていますが、どういうことでしょうか？
- A. 農地維持・資源向上（共同活動）交付金、資源向上（長寿命化）交付金で、終了年度で残金があれば、それぞれ返還して頂くこととなります。活動組織については、草刈り・泥上げは毎年されるとおられますので、農地維持交付金だけでも続けて頂くよう、お願いします。

どんな些細なことでも結構です。お気軽に、支援員にご相談ください。

	問 合 先	支援員	電話番号
東 部	水土里ネットとっとり(協議会事務局)	小林 孝規	0857-38-9500
中 部	水土里ネットとっとり倉吉事務所	前田 秀穂	0858-47-0055
西 部	水土里ネットとっとり米子事務所	種田 順治	0859-32-9710

平成29年度多面的機能支払研修会は、2月17日（土）アロハホールで開催されます！